

平成30年度進行管理・評価シート
千曲市歴史的風致維持向上計画（平成28年5月19日認定）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 計画実現のための推進体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 千曲市景観計画との連携	2
2 屋外広告物法との連携	3
3 文化財保護法との連携	4
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 稲荷山伝統的建造物群保存地区 保存整備事業	5
2 八幡地区町並み整備事業	6
3 稲荷山伝統的建造物群保存地区 環境整備事業	7
4 更級・姨捨地区 環境整備事業	8
5 水源涵養里山整備事業	9
6 姨捨の棚田耕作支援施設整備事業	10
7 歴史資源調査活用事業	11
8 歴史文化の発信事業	12
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の保存(文化財調査・指定、 保存管理・活用等)について	13
2 文化財の修理、整備等について	14
3 文化財の周辺環境の保全について	15
4 文化財の防災に関する取組について	16
5 文化財の保存及び活用の普及・ 啓発について	17
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 担ぎ手やお囃子が合同練習 ほか	18
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 企画展『松田館の四百年』展の開催	20
□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	21

評価軸①-1 組織体制		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
計画実現のための推進体制		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	①都市計画課・歴史文化財センターが事務局を担い、歴史まちづくり法第11条に基づく千曲市歴史的風致維持向上協議会において計画推進や計画変更、円滑な事業の実施に向けた協議を行い、事業を推進することを基本とする。 ②計画の推進や事業の実施に際しては、国や長野県の指導を仰ぎながら、庁内の関係各課との連絡調整を行いつつ、事業対象となる文化財の所有者や周辺住民等と協議の上、一体となって事業を推進する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
①千曲市歴史的風致維持向上協議会を2回開催し、計画事業の進行管理・評価について協議し、幅広く意見をいただいた。 ②庁内関係課長で組織する企画政策会議を開催した。会議において各事業の進捗状況の確認及び課題等を共有し、併せて進行管理や進捗評価についても確認を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
①千曲市歴史的風致維持向上協議会の開催 第1回 平成30年7月19日(木) 14:00～ 協議事項 (1)現在までの経過について (2)平成30年度の千曲市歴史的風致維持向上計画事業について (3)計画の進行管理及び今後のスケジュールについて 第2回 平成31年2月19日(火) 14:00～ 協議事項 (1)千曲市歴史的風致維持向上計画の進捗評価について (2)千曲市歴史的風致維持向上計画の変更について ②企画政策会議(庁内会議)の開催 第1回 平成30年6月20日(水)13:30～ 議題 (1)今年度のスケジュールについて (2)歴史的風致維持向上協議について (3)進捗評価について			

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
千曲市景観計画との連携		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 千曲市全域を景観形成区域と位置づけ、そのうち重点地区として千曲市を代表する個性ある地域について、重点的かつ段階的に景観形成を進めるために、良好な眺望景観を有する地区、歴史的・文化的景観を有する地区、自然と調和した景観を有する地区など6地区に分け、姨捨地区を景観形成重点地区に、また、その他の5地区を候補地として設定している。今後、他の候補地においても重点地区の指定について検討していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

景観計画担当者との連携のための協議を行った。今年度が景観計画の見直し年度であったため、歴史的風致維持向上計画とそれに関連する良好な景観形成に関する施策や課題について取組等を共有し、それらも踏まえて見直ししてもらうよう協議した。
 なお、千曲市景観計画では、特定行為に対して届出義務を課し、高さや面積、色彩等について誘導している。また、重点地区として姨捨地区を定め、より制限をかけ景観の保全を図っている。
 ○重点区域内の景観計画に基づく届出件数
 稲荷山・桑原・八幡地区 6件 更級・姨捨地区 1件 戸倉上山田温泉地区 1件

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

景観計画担当者との連携を協議
 第1回 平成30年6月12日(火)
 協議内容
 (1)計画見直しにおける歴史的風致維持向上計画との連携について
 (2)それぞれの重点区域について

第2回 平成30年9月5日(水) ※屋外広告物担当者も同席
 協議内容
 重点区域における事例について

評価軸②-2

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	平成30年度
----	--------	--------

屋外広告物法との連携		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
------------	--	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

計画に記載している内容
 本市における屋外広告物は、長野県屋外広告物条例(平成5年10月18日長野県条例第23号)により規制されている。本市内における指定区域には、基本的に屋外広告物を禁止する「禁止地域」と許可申請により設置が可能な「許可地域」の2つがある。これら指定区域において屋外広告物の表示や設置を規制・指導することにより、風致景観を維持する。本計画では引き続き屋外広告物法と連携して、歴史的風致の維持向上を図っていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

屋外広告物担当者と連携のための協議を行った。歴まち計画と良好な景観形成に関する施策や課題について取組等を共有した。
 重点区域に関しては、景観の保全を図るため、独自条例の制定も含め検討していく。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	
------------------------------------------------------------------------------------------	--

状況を示す写真や資料等

屋外広告物担当者と連携を協議
 第1回 平成30年6月13日(水)
 協議内容
 (1) 計画に記載されている方針と課題について
 (2) 屋外広告物の規制・指導について

第2回 平成30年9月5日(水) ※景観計画担当者も同席
 協議内容
 (1) 重点区域における事例について
 (2) 屋外広告物の点検について

第3回 平成30年10月12日(金)
 協議内容
 (1) 屋外広告物条例の制定について

評価軸②-3

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
文化財保護法との連携		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 重点区域には、重要伝統的建造物保存地区に選定されている“稲荷山伝統的建造物保存地区”と名勝「姨捨(田毎の月)」・重要文化的景観「姨捨の棚田」が所在し、保護が図られている。
 稲荷山伝統的建造物群保存地区については“千曲市稲荷山伝統的建造物群保存地区保存計画”(平成26年千曲市教育委員会告示3号)を策定し、名勝「姨捨(田毎の月)」については、“名勝「姨捨(田毎の月)」保存管理計画”(平成25年7月改訂)を、重要文化的景観「姨捨の棚田」については“姨捨棚田の文化的景観保存計画”(平成20年3月)を策定し、ゾーニングと整備水準の基本方針を定め、それぞれ保存と活用を進めていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財関係の審議会等において、情報の共有や事業に関する意見をいただいた。
 文化財担当者との連携のための協議を行った。歴史的風致形成建造物の整備や、文化財の保存と活用に関する施策、課題について取組等を共有した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

○文化財関係審議会等との連携

・市文化財保護審議会
 平成31年1月16日開催

・松田家整備委員会
 平成30年6月29日(金)
 議題 今後の松田館の整備方針の検討

平成30年7月26日(木)
 議題 今後の松田館の整備方針の検討



○文化財担当者と連携を協議

第1回 平成30年4月11日(水)
 協議内容 (1)各区域の現在の状況について
 (2)重要伝統的建造物群地区内の整備と活用について
 (3)歴史的風致形成建造物の整備について

第2回 平成30年9月21日(金)
 協議内容 歴史的風致形成建造物の整備について

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
稲荷山伝統的建造物群保存地区 保存整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成27年度～令和7年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備費補助金、市単独事業		
計画に記載している内容	稲荷山伝統的建造物群保存地区内の歴史的建造物等の保存・活用を図るため、建造物等の買上や修理、修景などを行い、歴史的な町並みの整備を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
文化庁の補助金を活用し、丸山家主屋に補助金を交付し、稲荷山伝統的建造物群保存地区における歴史的建造物の保全を図った。(H30年度実績 1件)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<p>◆歴史的建造物保全</p> <p>丸山家主屋</p> <p>修理前</p>  <p style="text-align: center;">↓</p> <p>修理後</p> 			

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
	項目	現在の状況

八幡地区町並み整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
-------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業期間 平成29年度～令和7年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 松田家及び神宮寺、大頭祭沿道等八幡地区の町並み整備を行う。
また、松田家資料保存整備事業を早期に完成させ、松田家住宅の公開を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

松田館齋館の修理助成を行い、年内に竣工となった。
今後は主屋等の再建を進め、周辺環境の整備とともに早期に街なみの整備を進めていきたい。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

修理前(火災前)



修理後



評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
稲荷山伝統的建造物群保存地区 環境整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成27年度～令和7年度
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備費補助金、市単独事業
計画に記載している内容	街路整備や防災、拠点施設整備、町家活用など、千曲市稲荷山伝統的建造物群保存地区の環境整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

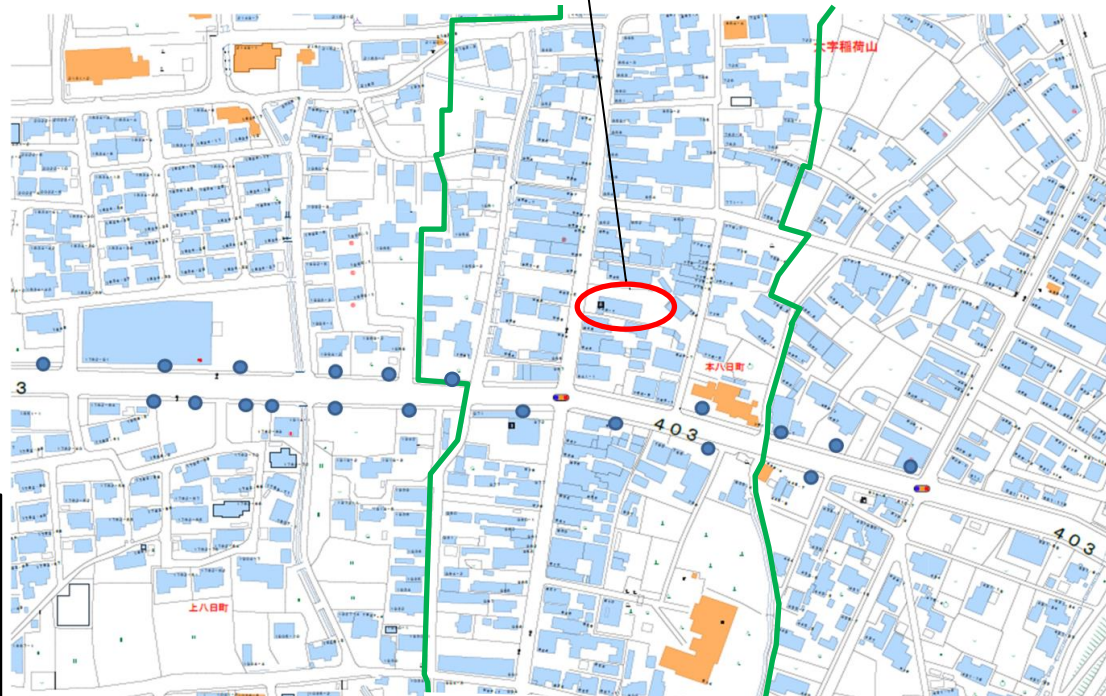
稲荷山伝統的建造物群保存地区内の交流拠点の整備を進めるため、地区の中心地で更地となっている区画を公有化した。地区内の防災に関しては前年度に調査を行ったことから、周知を図るため報告書の公開に向け手続きを進めた。また、街路灯の整備として、重要伝統的建造物群保存地区内を含め20基をLED化し、地区内の空き店舗の活用については、利用希望者、商工会議所を交え助成金制度を利用した活用に向けて協議を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	交流拠点整備予定地は、現在でも7月中旬の祇園祭の時には広場として活用されているが、使い勝手があまり良くないため、さらなる活用をめざし地区の要望を取り入れながら整備を進めたい。

状況を示す写真や資料等



交流拠点整備予定地



- 凡例
- : 街路灯整備(LED化)
 - : 稲荷山伝統的建造物群保存地区

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
更級・姨捨地区 環境整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成28年度～令和7年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備費補助金、市単独事業

計画に記載している内容 名勝「姨捨(田毎の月)」・重要文化的景観「姨捨の棚田」及び周辺の道路、農道、水路などの環境整備を行う。

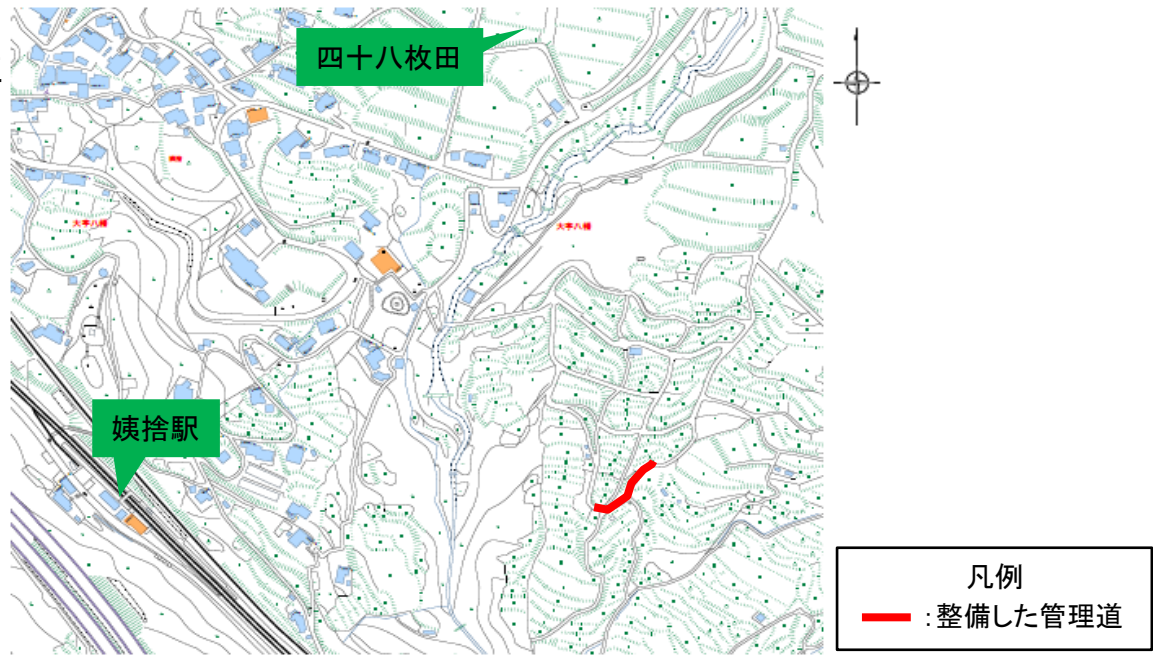
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

名勝指定地、上姪石地区管理道の整備工事を実施し、耕作しやすい環境整備を行った。
 (H30実績 上姪石地区管理道7号線整備工事 L=120m)
 また、姨捨の棚田整備計画を策定し、一帯の整備方針等をまとめた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

◆管理道工事



名勝「姨捨(田毎の月)」上姪石地区管理道

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
水源涵養里山整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成28年度～令和7年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 姨捨の棚田の水源である冠着山や三峰山等の森林整備及び、安全に登れる登山道や遊歩道の整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

姨捨棚田の重要な水源となる大池の遊歩道整備について、約14mの補修を行った。
また、各種団体の協力を得て登山道や遊歩道の管理、整備を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

○大池遊歩道



修理前



修理後

○自然公園冠着山登山道管理委託
受託者 羽尾主務区長(羽尾4区、羽尾5区、仙石区、須坂区)
作業日・作業者 4月13日(6人) 4月29日(49人)

○自然公園冠着山登山道管理委託
受託者 シルバー人材センター
作業日・作業者数 7月17日・18日(9人)

○坊城平いこいの森遊歩道管理委託
受託者 冠着山の自然と文化遺産を保存する会
作業日・作業者数 5月12日(14人)

○善光寺道・姨捨近道・東山道支道遊歩道維持管理委託
受託者 川西地区振興連絡協議会
作業日・作業者 4月7日(12人) 6月9日(15人)
6月23日(17人) 9月29日(27人)

○大池遊歩道修理
修繕延長 L=14m
事業期間 4月26日から5月31日
請負業者 (株)森選組



冠着山登山道整備作業

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
姨捨の棚田耕作支援施設整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～令和元年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 おいしい米として認定(2015年食味コンクール)された姨捨の棚田米について、耕作者自ら「姨捨の棚田米」を精米、梱包等し商品化できる施設等を整備する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

地権者との農林課との協議で、適正価格での購入を希望されたので、用地交渉を実施した。また、駐車場の整備を行うこと等について、歴史文化財センターと協議を行い、整備に向けて調整を行った。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

事業着手にあたり地権者との用地交渉に関する協議に期間を要したため、事業期間を令和2年度まで延伸する。また、地形上、農機具を置く場所がなく、野外に置かれていることから、耕作しやすい環境整備のため農機具小屋の設置や駐車場の整備を行う。

状況を示す写真や資料等



予定地

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
歴史資源調査活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～令和7年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 稲荷山の町並み形成の契機となった稲荷山城跡、更級郡衙範囲など歴史的資源の調査を行い、実態解明を図る。その成果に基づき、その保存並びに活用を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

稲荷山城跡の範囲について、現代の地割図や明治時代の地籍図等から検討する作業をひきつづき実施。今年度は推定地周辺で地権者の協力を得て確認調査1件を平成30年8月に実施した。稲荷山城に関わる遺構の検出は認められなかったが、善光寺地震に伴うとみられる大火の焼土を含む火災後の整地層を確認した。来年度以降も、確認調査地点の候補地の選定をすすめ、可能な箇所については試掘調査を実施する。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



稲荷山城推定地



調査区全景



火災後の整地層

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
歴史文化の発信事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～令和7年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 文化財の将来の担い手である児童・生徒に対し、歴史的風致を中心とした千曲市の歴史文化に関する冊子を作成し、郷土学習資料として活用してもらうほか、観光客に対してパンフレットを作成し配布することで、より一層の誘客増、魅力発信を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

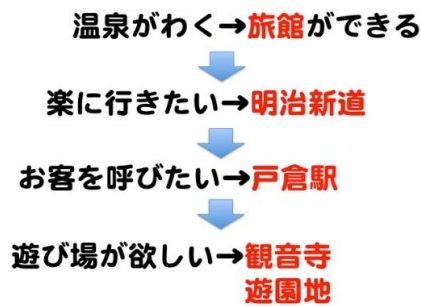
市内小学校において市内の歴史文化に関する講義を実施した。
(H30実績 平成31年1月29日 上山田小学校5年生2クラス39名に戸倉上山田温泉地区の歴史について、歴史文化財センターが所蔵する昭和30年代の上山田町を撮影した8ミリフィルムおよび郷土資料室の資料を使用して解説。)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
文化財の保存(文化財調査・指定、保存管理・活用等)について		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

文化財は指定・未指定に関わらず、本市の歴史と文化を理解する上で不可欠なものであり、文化財等の調査を行い、価値が認められたものについては、市の指定・国の登録制度の活用を検討するとともに、適切な保存管理や活用が図られるよう、計画的に修理・整備、防災対策等を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・建造物の調査 稲荷山重要伝的建造物群保存地区「旧米清」建造物調査
- ・埋蔵文化財の調査 松田家齋館確認調査

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

市内に数多く残る歴史的価値を有する建造物等の文化財について、適切な保全を推進するため、今後も新規の指定・登録等を積極的に進めるとともに、その学術的基礎資料の蓄積を進めていく。

状況を示す写真や資料等



○「旧米清」建造物調査

幕末から醸造業で財をなした。幕末から明治初期の建物が良好に残る。建築年代や、建築様式等を解明するため実施。



○松田家齋館確認調査

松田家解体調査事業にともなう確認調査。調査の結果、中世以降、複数回の火災に見舞われていることが明らかになった。



評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
文化財の修理、整備等について		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 文化財の修理は、文化財の価値を維持することであるため、過去の改変履歴や調査記録等の活用と、新たな調査研究に基づき実施することを基本とする。特に、指定文化財の修理は、文化財保護法や長野県・千曲市の文化財保護条例に基づくとともに、文化庁に指導を仰ぎつつ、関係機関や専門家と連携して実施する。また、所有者等の財政的負担の軽減を考慮し、各種補助制度を積極的に活用する。未指定文化財や、歴史的風致形成建造物として指定した建造物の修理については、所有者等と協議しながら、保存のための対策を講じる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

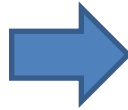
経年劣化が進んでいた文化財の保管施設2件のほか、歴史的風致形成建造物1件について、市の補助事業により所有者の財政負担を軽減し、修理をおこなった。
 観龍寺本堂、薬師如来収蔵施設(柏王)、松田館齋館

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

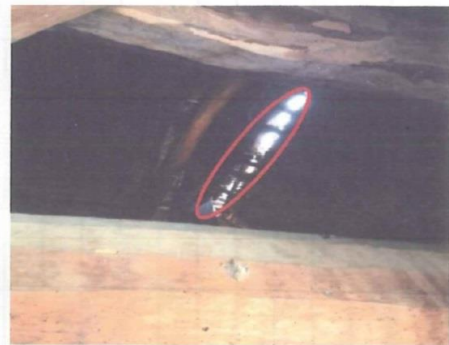
状況を示す写真や資料等



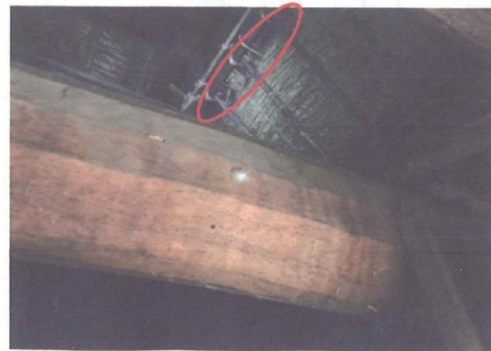
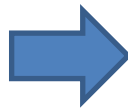
観龍寺本堂(修理前)



観龍寺本堂(修理後)



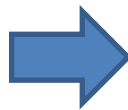
薬師如来収蔵施設(修理前)



薬師如来収蔵施設(修理後)



松田館齋館(修理前)



松田館齋館(修理後)

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
文化財の周辺環境の保全について		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 文化財の周辺環境は、文化財の価値に強い影響力を与えることから、都市計画法や景観法等の関連法令と連動し、都市計画法や景観法に基づいて保全に努める。文化財周辺の景観を阻害する要素は、要素の改善や除却をするとともに、整備を行う際は、文化財や周辺の環境と調和したものとする。また、文化財の保存活用を目的とする便益施設等についても整備していく。

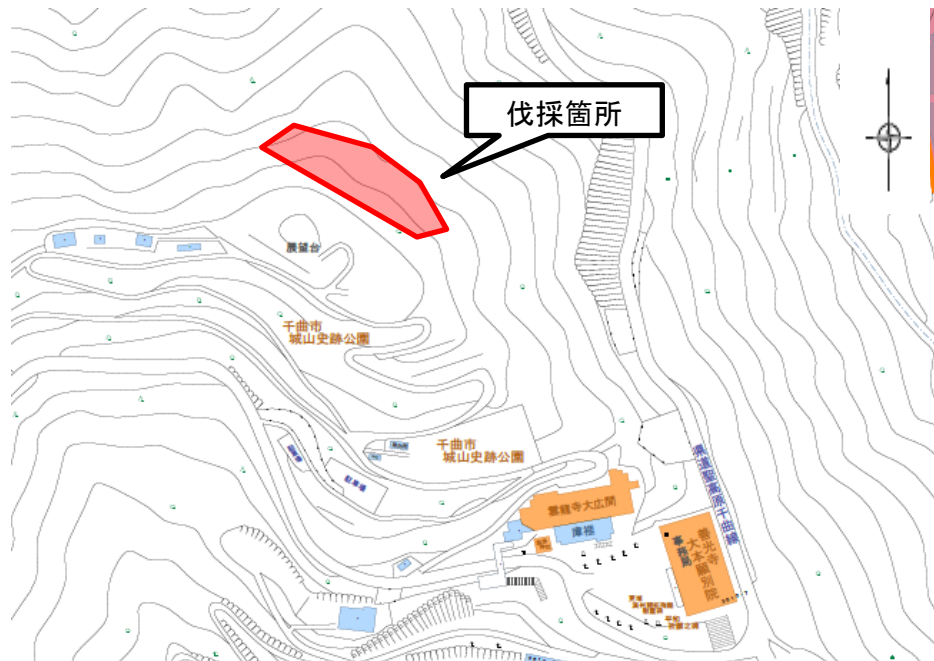
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

景観を阻害する要素を除却するため、荒砥城において支障木の伐採を行った。また、市指定天然記念物「お稲荷様のケヤキ」の枝が強風により落下したため、景観保全のため伐採・片付け作業へ補助をおこなった。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

◆景観支障木伐採



◆保全作業



保全作業

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
----	--------	-----------------

文化財の防災に関する取組について

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載
している内容

火災が発生しないよう予防対策の徹底と、火災が発生した際の迅速な消火体制の確保、火災が発生した際に迅速に対応できるよう日頃からの防災教育・訓練に取り組む。予防対策は、消防法で義務づけられている自動火災報知器や消火設備等の防火設備の設置とともに、オール電化の導入を検討し、文化財を保存する上で必要と考えられる防火設備を設置する。
 防災教育・訓練は、文化財の所有者等に対して防災に係る周知啓発と防災教育に取り組み、文化財防火デーには、各地の消防団や各種自主防災組織と連携して文化財施設での消火訓練を実施する。また、地震対策として耐震診断や耐震補強工事の実施など、個別の災害ごとに必要と考えられる対策を行うことにより、き損・滅失のリスクの軽減を図る。
 また、美術工芸品の有形文化財は、防犯環境設計の考え方に基づき、盗難にあわないよう防犯設備の設置を推奨するとともに所有者の意識改善等により、防犯性能の向上を図る。不幸にも、文化財が被災してしまった場合は、その後の防災対策に役立てるため、被災履歴を記録する体制を整える。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

稲荷山重要伝統的建造物群保存地区の防災調査の報告書を刊行した。
 松田館の火災が発生した9月6日に合わせて、千曲坂城消防本部に任意指導を依頼し、松田館の防火対策について指導を受けた。
 防災・防犯の啓発活動として、平成30年8月9日、9月5日、9月10日、11月27日に長野県文化財保護指導員とともに国、県関係の文化財所有者を訪問して注意喚起を行った。
 第65回文化財防火デーに合わせた取組として、平成31年1月27日に市内森地区の県宝を収蔵している観龍寺において、千曲坂城消防本部、地元区、地元消防団とともに消防訓練を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



平成30年9月6日 消防署による松田館の防火対策の指導



平成31年1月27日 第65回文化財防火デーに合わせた取組として実施した観龍寺での消防訓練

評価軸④-5

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
	項目	現在の状況

文化財の保存及び活用の普及・啓発について

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容

市内外の人びとを対象として実施する普及・啓発は、案内板等の設置やパンフレット等の作成・配布とともに、イベントの開催等により、広く普及・啓発を図る。市民への主な普及・啓発は、広報紙やイベントの開催等により日頃からの認識向上とともに、地域に根差した伝統芸能や行事の将来の担い手である子どもたちに対しても、これら伝統芸能や行事への愛着をはぐくむための取り組みを推進する。
地域の歴史や文化財の調査・発信を行っている団体や、無形民俗文化財の保護活動を行っている団体など、これらの各種団体の多様な活動をさらに活性化させるため、必要な情報提供や人材育成等を積極的に支援し、地域住民の主体による文化財保護活動を進めていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

千曲市森將軍塚古墳館にて秋季企画展『松田館の四百年』展を開催した。千曲市教育委員会が所蔵する松田家所蔵資料の一部を展示し、その軌跡をたどることで、広く市民の文化財保護意識の高揚を図ることができた。開催期間中には、展示解説を実施し、分かりやすい文化財情報の発信に努めた。期間中2800名余りの見学者があった。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



- ・開催期間 平成30年8月26日～10月8日
- ・展示解説 平成30年9月16日 13:30～
歴史文化財センター職員が展示資料について解説(参加者30名)

展示解説リーフレット(A4判 16ページ)



展示解説の様子



評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	評価対象年度	
	年月日	平成30年度 掲載紙等
アンズ5分咲きで初日から見頃 <第63回あんずまつり始まる>	4月1日	信州ケーブルテレビジョン
「八幡の戦い」記念碑建立へ <10月武水別神社境内で除幕式目指す>	4月22日	信州ケーブルテレビジョン
松田家の歴史探訪 第1回	5月1日	市報千曲
名勝棚田で田植え始まる	5月8日	信州ケーブルテレビジョン
アンズ摘果で市特産学ぶ <屋代南高校ライフデザイン科1年>	5月9日	信州ケーブルテレビジョン
生き物いっぱい、姨捨棚田で田植え <名月会指導で八幡小5年>	5月26日	信州ケーブルテレビジョン
大自然に囲まれ田植え体験 <棚田貸しますオーナー制度で300人>	6月2日	信州ケーブルテレビジョン
千曲の歴史、文化に触れる学習 <屋高付属中が稲荷山を散策>	6月5日	信州ケーブルテレビジョン
早乙女の伝統受け継いで25年 <お田植えまつりで屋代南高生徒>	6月10日	信州ケーブルテレビジョン
アンズは千曲の宝物	6月26日	信濃毎日新聞
担ぎ手やお囃子が合同練習 <勇獅子誕生90周年>	6月28日	信州ケーブルテレビジョン
松田家の歴史探訪 第2回	7月1日	市報千曲
稲荷山の熱い夏始まる <3日間にわたる稲荷山祇園祭初日「天王下ろし」>	7月13日	信州ケーブルテレビジョン
歴史まちづくりカードを配布	8月1日	市報千曲
松田家の歴史探訪 第3回	8月1日	市報千曲
長野・千曲 地域の魅力発信 国交省関東地方整備局、歴まちカード作り配布	8月24日	信濃毎日新聞
松田館400年の歴史を展示 <市森将軍塚古墳館で10月8日まで>	8月31日	信州ケーブルテレビジョン
松田家の歴史探訪 第4回	9月1日	市報千曲
望遠鏡組み立て月を見よう 千曲・姨捨で17日観察会	9月7日	信濃毎日新聞
再建中の松田館、防火意識高める 千曲市職員ら、設備確認	9月8日	信濃毎日新聞
千曲の松田館、価値再認識を 企画展で歴史など紹介	9月17日	信濃毎日新聞
オーナー制度 ひと足早く稲刈り <八幡・更級小5年生>	9月20日	信州ケーブルテレビジョン
足元悪くても稲刈り楽しい <姨捨棚田オーナー収穫体験>	9月29日	信州ケーブルテレビジョン
松田家の歴史探訪 第5回	10月1日	市報千曲
第22回荒砥城まつり	10月1日	市報千曲
第26回さらしなのさと縄文まつり	10月1日	市報千曲
松田家齋館修理工事に伴う防火指導	10月1日	市報千曲
「信州棚田ネット」設立へ 保全団体の連携やPR活動	10月12日	信濃毎日新聞
松田家の歴史探訪 第6回	11月1日	市報千曲
森将軍塚まつり 古代の生活体験 千曲です	11月2日	信濃毎日新聞
千曲市3大歴史まつりのフィナーレ<第27回森将軍塚まつり>	11月3日	信州ケーブルテレビジョン
姨捨の棚田のコメ、そばをまろやかに 千曲です「新そばまつり」	11月10日	信濃毎日新聞

焼けた松田館「齋館」修理完成 <主屋は来年度整備へ>	11月26日	信州ケーブルテレビジョン
松田家の歴史探訪 第7回	12月1日	市報千曲
餅を投げて頭人を祝福 <大頭祭前に釜清め神事>	12月3日	信州ケーブルテレビジョン
松田家の歴史探訪 第8回	1月1日	市報千曲

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市内で行われた祭礼や棚田、あんずに関する内容が多く報道され、当市の歴史的風致のPRにつながった。また、歴史的風致形成建造物に関する事業の取組みに関する内容や歴史まちづくりカードの取組も報道された。千曲市歴史的風致維持向上計画のPRにつながった。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等



歴史的文化的スポットを紹介

歴史まちづくりカードを配布

■問い合わせ先 更埴庁舎・都市計画課(内線5622)
ふる里漫画館(Tel.026-273-5639)

市は、歴史まちづくりに取り組む都市の魅力をもPRするため、国土交通省関東地方整備局と連携し、歴史まちづくりカードを作成しました。

歴史まちづくりカードとは、歴史的風致維持向上計画認定都市の象徴的な風景写真や地域固有の歴史的・文化的資産などを紹介しているものです。

市には、地域における固有の歴史及び伝統を反映した人々の活動と、その活動が行なわれる歴史上価値の高い建造物及びその周辺の市街地とが一体となって形成してきた良好な市街地の環境が多く残っていることから、今後も計画的に歴史まちづくりを進めていきます。

■配布日 8月中旬を予定
*決まり次第、市ホームページでお知らせします。

■配布場所 ふる里漫画館
*事前予約や郵便での取り扱いを行いません。
*ひとり一枚までで、無料で配布します。

■大きさ 縦6・3センチ×横8・8センチ

■表面 商都稻荷山と祇園祭

■裏面 表面写真の紹介、歴史まちづくりカードの紹介

平成30年8月 市報千曲
※転載許可

松田館の歴史探訪 第1回

千曲市文化財保護審議会長 井原 今朝男

武水別神社は江戸時代末期の1836年に神祇官家吉田家から改名・認可されたもので、それ以前は、ずっと「小谷別宮」「更科八幡宮」「八幡宮」と呼ばれ、山城国石清水八幡宮の末社で「小谷庄」という寺領荘園でもありました。

戦国時代から八幡宮の神主家であった松田家は、中世の居館跡でもあり、県史跡に指定されています。県宝であった齋館や主屋などは無念にも昨年の火災で焼損しましたが、多くの貴重な文化財や社宝が伝来しています。そこで、現存する貴重な文化財の一部を紹介します。

松田家には、応永三年(1396年)5月26日に信州更科郡八谷庄八幡宮に奉納された梵鐘の銘文写(写真1)が伝来しています。

嘉吉三年(1443年)6月に銅製透釣燈籠(写真2)が寄進され、「信州八幡宮三灯口願主 源大夫志也、大工上金屋徳阿」と刻銘され、神社に現存する県宝です。大工とは八幡宮専属の職人頭で、上金屋は鍛冶・鋳物師・タタラを兼ねた金具職人で、阿弥号を名乗っていました。八幡宮に所属していた技術者と職人集団が室町文化を支えていたことがわかります。



▲写真1 【松田家文書】



▲写真2 【武水別神社所蔵】

平成30年5月 市報千曲
※転載許可

評価軸⑥-1
 その他(効果等)

評価対象年度 | 平成30年度

項目

企画展『松田館の四百年』展の開催

計画に記載
 している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

秋季企画展『松田館の四百年』展を開催し、千曲市教育委員会が所蔵する松田家所蔵資料の一部を展示した。その軌跡をたどることで、広く市民の文化財保護意識の高揚を図ることができた。

開催期間中には、展示解説を実施し、分かりやすい文化財情報の発信に努め、2700名余りの見学者があった。

・開催期間 平成30年8月26日～10月8日

・展示解説 平成30年9月16日 13:30～ 歴史文化財センター職員が展示資料について解説(参加者30名)

・期間中入館者 2,713人(前年月平均1,791人)

・期間中入館料収入 138,520円(前年月平均69,350円)

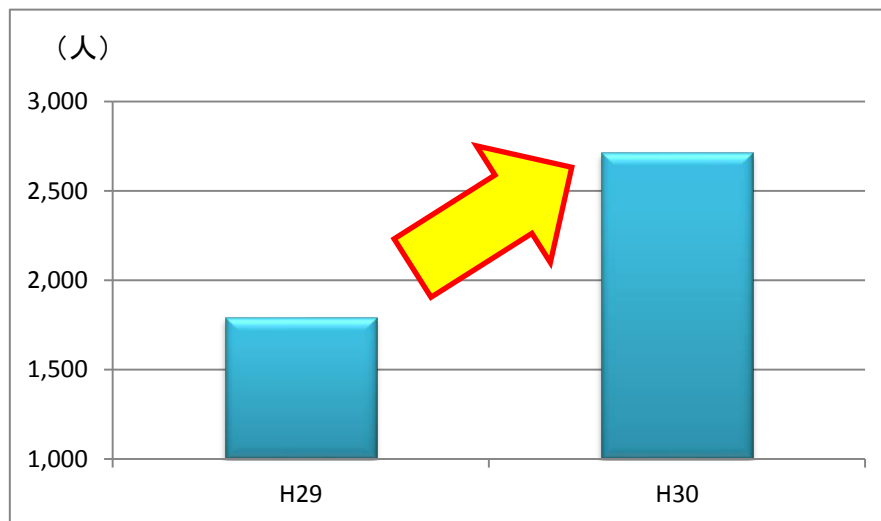
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

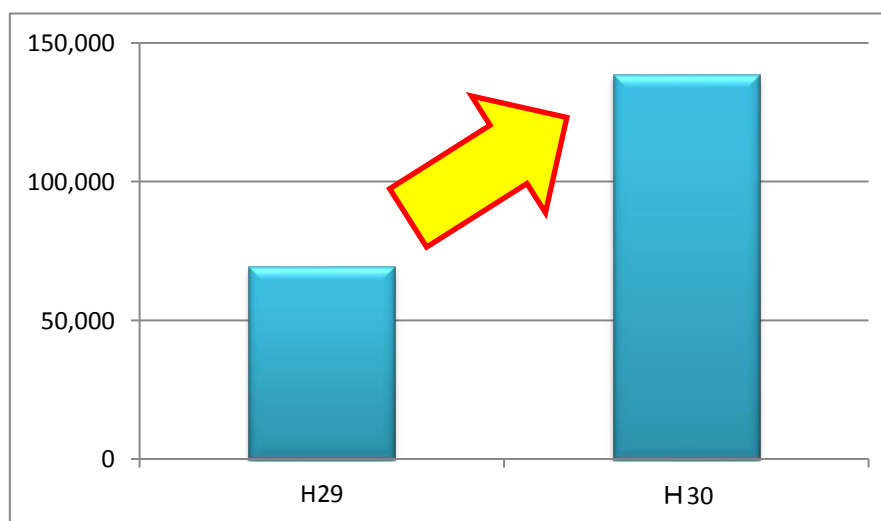
状況を示す写真や資料等

企画展期間中は、入館者数が前年月平均の**1.5倍!**



入館者数(対前年1か月平均)

入館料収入が前年月平均の**2倍!**



入館料収入(対前年1か月平均)

法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	平成30年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称:千曲市歴史的風致維持向上協議会(法定協議会)	
会議等の開催日時:平成31年2月19日(火)14:00~	
(コメントの概要)	
歴史資源調査活用事業における稲荷山城跡の調査に関して、推定場所の特定の調査方法についてどういう方法があるのか、他市の成功事例を参考に、稲荷山に合っているものを検討しながら進めるべき。	
(今後の対応方針)	
他市の事例を調べて検討する。	